

- (1) 「特集 これだけは知っておきたい 診療・相談記録の書き方 (I)」、精神科臨床サービス2 (1)、2002年 (註: 論文21篇が含まれている)
- (2) 「特集 これだけは知っておきたい 診療・相談記録の書き方 (II)」、精神科臨床サービス2 (2)、2002年 (註: 論文24篇が含まれている)
- (3) 木村明「診療録の記載とその管理」、日本医師会雑誌123:324-327、2000年
- (4) 日本医師会「診療情報・医療情報」、医療の基本ABC別刷 (日本医師会雑誌特別号)、2000年
- (5) 「特集「患者記録」に求められる適切な文章表現」、かんごきろく11 (1):8-35、2001年 (註: 論文5篇が含まれている)
- (6) 「特集 精神科診療に必要な書式マニュアル」、臨床精神医学増刊号 2003年 (註: 論文33篇が含まれている)
- (7) 「特集 看護が見える記録」、精神科看護27 (1):12-53、2000年
- (8) Moline M.E. Williams G.T. Austin K.M.. (斉藤朱美ほか訳)「適切な診療録: 精神科・心理療法編」、星和書店、2005年
- (9) (財) 日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会医療記録部会・Chart Review検討会「医療記録の記載指針 (入院医療記録) V.6.0」、患者安全推進ジャーナル2005/N0.12、2006年
- (10) 「特集 医療安全とChart Review」、患者安全推進ジャーナル2005/N0.9:4-44、2005年 (註: 論文2篇が含まれている)

7. 医療機関情報および公開関連

- (1) 東京都福祉保健局医療政策部医療政策課「医療機関による「広報」に関するガイドライン」、2005年
- (2) 日本医療機能評価機構「病院機能評価項目 (VER5)」、2005年 (施行)
- (3) 伊藤哲寛ほか「精神科における情報公開を促進するためのガイドライン (試案)」(平成13-15年度厚生労働科学研究分担研究「精神科における情報公開と人権擁護に関する研究」研究班)、2004年
- (4) 東京都健康局医療政策部医療安全課「精神科病院における入院患者処遇の手引・精神科病院自主管理チェックリスト」、2003年
- (5) 中医協・診療報酬基本問題小委員会資料「患者の視点の重視について」、2005年
- (6) 社会保障審議会障害者部会精神障害分会報告書「今後の精神保健医療福祉施策について」、2002年
- (7) 精神保健福祉対策本部「精神保健医療福祉の改革ビジョン」、2004年
- (8) 東京精神医療人権センター、東京地域精神医療業務研究会編「東京精神病院事情2005年版 (1998→2003)」、2005年

8. 医療情報の公開関連

- (1) 厚生労働省医政局指導課「医療計画作成ガイドライン」、2006年

9. 当事者の視点からの情報開示、インフォームド・コンセントと医療の質評価関連

- (1) 高柳和江「医療の質と患者満足度調査」、日総研出版、1995年
- (2) 「特集 病院にとって「患者の視点」とは」、病院64(11)13-58、2005年(註:論文10篇が含まれている)
- (3) 山梨宗治「病院や施設で患者・利用者に対してどのような人権侵害があるか—精神医療ユーザーアンケート調査より—」、季刊地域精神保健福祉情報Review14(1):9-13、2006年

10. 医療倫理と患者の権利関連

- (1) 日本医師会「医師の職業倫理指針」、2004年
- (2) 日本医師会「医の倫理綱領・医の倫理綱領注釈」、2000年
- (3) 日本看護協会「日本看護協会 看護者の倫理綱領」、2003年
- (4) 厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針(改正指針)」、2005年
- (5) 文部科学省・厚生労働省「疫学研究に関する倫理指針(改正指針)」、2004年
- (6) 文部科学省・厚生労働省「遺伝子治療臨床研究に関する指針(改正指針)」、2004年
- (7) 文部科学省・厚生労働省・経済産業省「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(改正指針)」、2004年
- (8) 高橋清久:精神医学・医療における倫理的問題(第98回日本精神神経学会総会記念講演). 精神経誌 104:725-734. 2002年
- (9) 国際連合総会(斎藤正彦、小池清廉ほか訳):精神疾患を有する者の保護及びメンタルヘルスケアの改善のための諸原則、日精協誌11:611-620, 1992年
- (10) WHO、DIVISION OF MENTAL HEALTH AND PREVENTION OF SUBSTANCE ABUSE(木村朋子訳)「MENTAL HEALTH CARE LAW: TEN BASIC PRINCIPLES」、WHO、GENEVA、1996、(精神保健福祉法改正論議に反映させたい WHO 文書(精神保健ケアに関する法:基本10原則)」、精神看護 1(4):40-45、1998年
- (11) Schouten R.(浅井邦彦監訳、伊藤いつ子訳)「第22回日本社会精神医学会特別講演II 精神障害者の権利擁護:法律・規則・訴訟に訴える米国型アプローチ」、日社精医誌11(1):54-65、2002年
- (12) Jonsen A.R.Siegler M.Winslade W.J.(監訳赤林朗ほか)「CLINICAL ETHICS 5th Edition(臨床倫理学 第5版)」、新興医学出版、2006年
- (13) 日本医学ジャーナリスト協会「患者の権利宣言と医療職の倫理綱領集」、興仁舎、2003年
- (14) 患者の権利法をつくる会(患者の権利法パンフレット)「与えられる医療から参加する医療へ(6訂版)」、2005年
- (15) 患者の権利オンブズマン編集「医療事故・カルテ開示・患者の権利」、明石書店、2001年
- (16) 池永満「改訂増補版 患者の権利」、九州大学出版会、1997年(註: Scully T.

& Scully C. 「インフォームドコンセントをするための質問」 収載)

(17) Beauchamp TL, Childress JF (永安幸正, 立木教夫監訳) 「Principles of Bio-medical Ethics (生命医学倫理)」, 成文堂, 東京, 1997年

(18) Bloch S. Chodoff P. Green S.A. 「Psychiatric Ethics 3rd. Edition」, Oxford Univ.Press, 1999年

(19) 森岡恭彦、畔柳達雄監修 「医の倫理 ミニ事典」、日本医師会雑誌134 (12) 付録、2006年

11. 各研究協力者の詳細な文献リストは各論稿に掲載されているほか、行政機関や各種団体のホームページを参照したが、ここでは省略した。

II 分担研究者らによる研究成果等の文献資料

1. 論文

(1) 佐藤忠彦 「精神神経学会の取組みの現状と課題 (第96回日本精神神経学会総会パネルディスカッション「精神科におけるカルテ開示の条件整備について)」, 精神誌103 (1): 2-8, 2001年

(2) 佐藤忠彦 「精神科カルテ開示の新たな段階」、臨床精神医学32 (1)、37-48、2003年

(3) 佐藤忠彦 「精神科カルテ開示の新たな段階と課題—厚生科学研究の報告から」、日精協誌23 (3)、15-20、2004年

(4) 佐藤忠彦 「個人情報保護法制下の精神科情報開示」、日精協誌24 (7): 32-37, 2005年

2. 著書

(1) 佐藤忠彦 「医療倫理 (分担執筆; 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集、改訂3版、精神保健福祉士養成セミナー「医学一般)」, へるす出版、2005年

(2) 佐藤忠彦、萱間真美、大塚淳子、川副泰成 「精神科領域の個人情報についてどう考えるか」、こころの臨床アラカルト第24巻増刊号、星和書店、2005年

(3) 佐藤忠彦、岩下覚 「統合失調症の管理・治療—マネジメント (分担執筆; 上島国利編集、最新医学別冊「新しい診断と治療のABC、統合失調症)」, 最新医学社、2005年

(4) 佐藤忠彦、岩下覚、前田典子 「精神科医療における情報提供とカルテ開示 (臨床精神医学講座S12「精神医学・医療における倫理とインフォームド・コンセント)」, 中山書店、2000年

以上

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
佐藤忠彦 萱間真美 大塚淳子 川副泰成			精神科領域の 個人情報につ いてどう考える か	星和書店	東京	2005	4-37
佐藤忠彦 岩下覚	統合失調症の管理・ 治療－マネジメント	上島国利	最新医学別冊「 新しい診断と治 療のABC、統 合失調症」	最新医学 社	大阪	2005	104-112

2. 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
竹島正 立森久照 長沼洋一	精神保健研究の立場からみた精神保健 福祉施策のグランドデザイン－グランドデ ザインにエビデンスはあるか－	臨床精神医学	34(8)	1043-1051	2005
佐藤忠彦	個人情報保護法制下の精神科情報開示	日精協誌	24(7)	32-37	2005

平成 17 年度

「精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び情報提供に関する研究」

研究班名簿

主任研究者	竹島 正	国立精神・神経センター精神保健研究所
分担研究者	佐藤 忠彦	社会福祉法人桜ヶ丘記念病院
	立森 久照	国立精神・神経センター精神保健研究所
研究協力者	浅野 弘毅	認知症介護研究・研修仙台センター
	泉 陽子	茨城県保健福祉部
	桑原 寛	神奈川県精神保健福祉センター
	小山 智典	国立精神・神経センター精神保健研究所
	須藤浩一郎	土佐病院
	寺田 一郎	社会福祉法人ワーナーホーム
	長沼 洋一	国立精神・神経センター精神保健研究所
	羽藤 邦利	代々木の森診療所

(50音順)

厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）

「精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び情報提供に関する研究」
平成 17 年度総括・分担研究報告書

発 行 日 平成 18 年（2006 年）3 月

発 行 者 「精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び
情報提供に関する研究」 主任研究者 竹島 正

発 行 所 国立精神・神経センター精神保健研究所

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

TEL : 042-341-2712(6209) FAX : 042-346-1950

